

研究会通信(2019年2月)

1. 総会・研究発表会

■先日1月27日(日)「理事会・事務局会議」を湯本事務所で開催、平成31年度総会・研究発表会を5月25日(土)に常磐共同ガス㈱会議室にて開催する事を取り決めました。

＊研究発表会の講師は小宅幸一、馬目太一両会員の予定。

＊大型観光バスによる産業遺産巡検も日帰りコースで具体案検討中です。

後日正式にご案内致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

.....

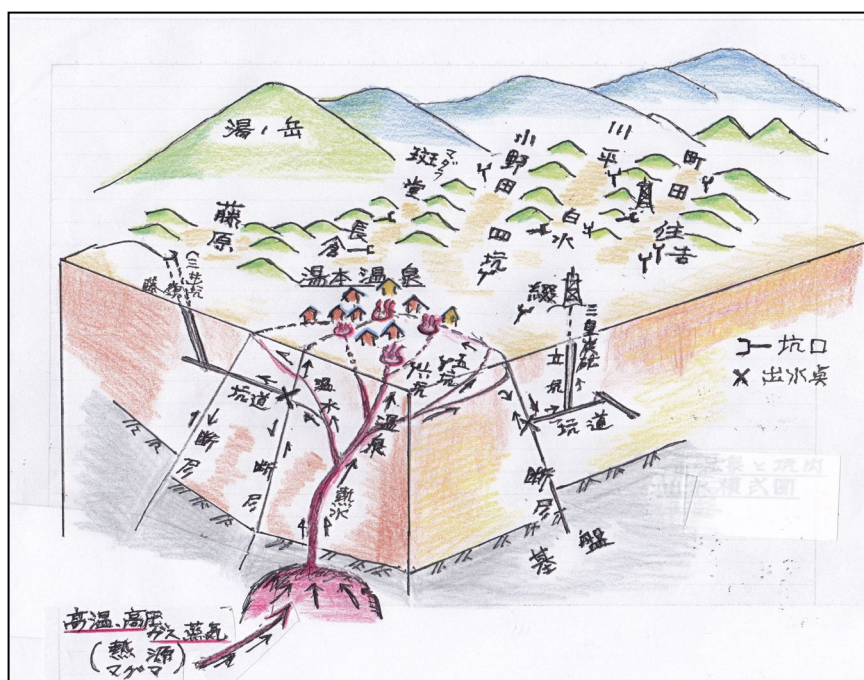
2. ほるる「アポロ展」のご案内

■今年は人類の月面到着から丁度50年目のメモリアル・イヤーだそうで、これを記念して「ほるる」では春と秋に「アポロ展」を開催します。当時は常磐炭礦㈱も石炭採掘中。地下のドラムカッターと月面の着陸船・・・地下と宇宙空間でお互いに技術の粋を尽くし成果を上げようとしておりました。月面到着から2年後の昭和46年に常磐炭礦㈱は実質的な閉山。感慨無量です。総会前に「ほるる」に立ち寄り東北初展示の＜月の石＞を見学してパワーをもらい、午後からの総会・研究会に出席するのも良いかも知れません。春のアポロ展は翌日の5月26日(日)まで。

.....

3. ほるる「冬の特別展＜石炭と温泉＞」のご案内

■冬の特別展(2019.12/14～2020.3/1)は「石炭と温泉」。この微妙な関係の歴史を紹介いたします。「ほるる」では本当に久しぶりの炭鉱関係の特別展で研究会も全面的に協力する予定です。会員各位のご協力や情報提供を是非お願いします。



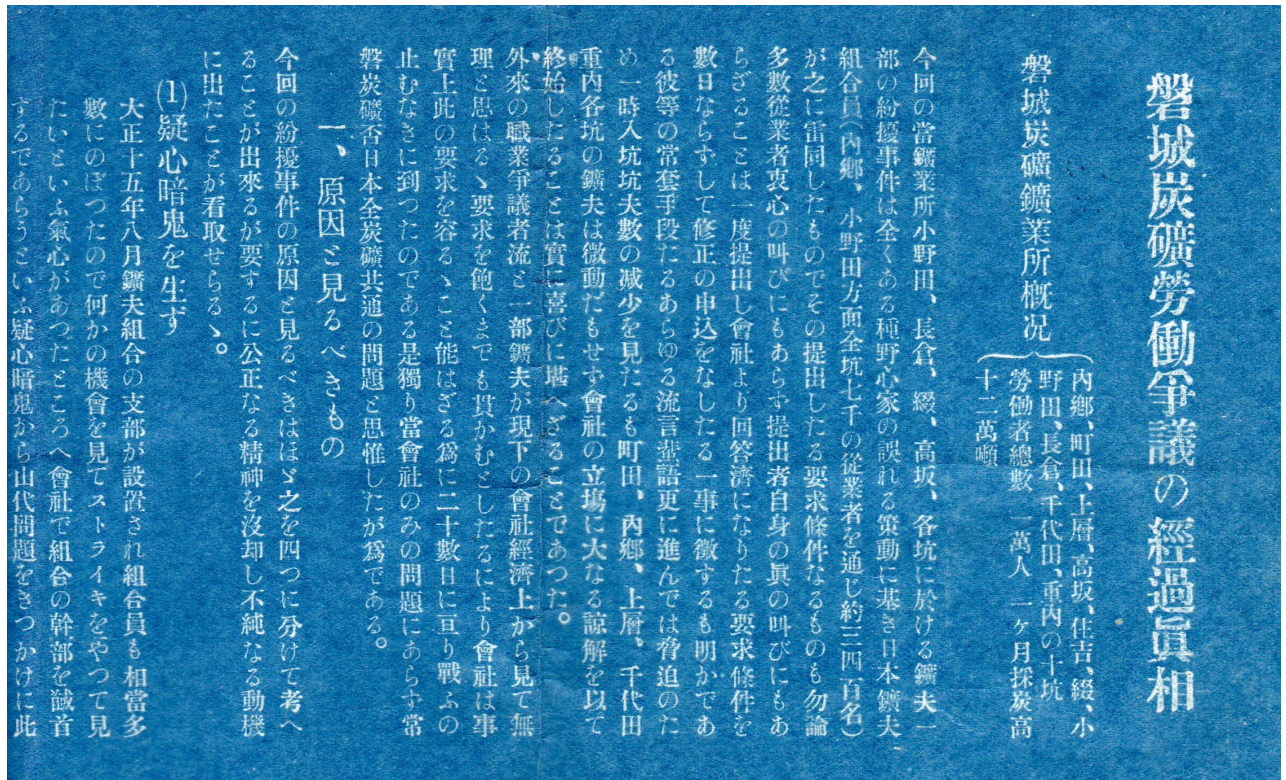
左の図は石炭採掘と温泉湧出の関係を表わした模式図です。(常磐炭礦OB小山田昭三郎氏のイラスト)

地中深くの源泉から湯本温泉街に温泉が自噴している様子と三星炭砒と藤原炭砒が断層に遭遇、湯本温泉の自噴に少なからず影響を与える・・・・。詳しくは「冬の特別展」でどうぞ。

(裏面に続く⇒⇒)

4. ほるる「特別文化講演会」のご案内

■常磐炭田史研究会では平成31年3月30日（土）13時30分より「常磐炭田と労働争議」というテーマでの特別講演をすることになりました。会員の渡辺文久氏が見つけた「磐炭争議」に関する青焼きの新資料（下の写真）を中心に話を進めたいと思います。当時の労働事情や会社の考え方等を垣間見る事が出来ます。こちらにも是非お運び下さい。



資料 磐城炭礦労働争議（いわゆる磐炭争議）の経過真相

会員の渡辺文久氏から提供された資料です。当時、磐城炭礦株式会社としての当該事案の総括ともいえる内容が書かれており、昭和初期の世情も反映して興味深い内容です。



春近しとはいえ、まだまだ寒い日が続くと思います。会員各位にはお体お大事にお過ごし下さい。炭田カフェや総会でお会いできるのを楽しみにしております。

※研究会通信にあるイラストや資料の無断使用は禁止します。